

九

大臣  
次官



五月

丙  
一九五三年  
五月

立案 昭和十九年五月三日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故元師海軍大將古賀峯一任階追陞一件

辭令 五月四日

昭和十九年五月二日裁可三月廿一日達  
臺帳記入 月 日官報報告済

裏面白紙



故元帥海軍大將古賀峯一位階追陞ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年五月二日

内閣總理大臣東條英機



内閣

裏面白紙

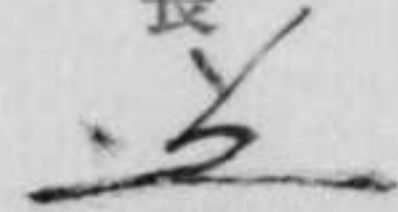
人海位第三九三號

案起	昭和十九年五月	日
裁可	昭和十九年五月二日	日
施行	昭和	年月日

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官



故元帥海軍大將古賀峯一位階追陞ノ件

辭令案

例文

三月三十一日付

内閣

海軍大臣 鳴田繁太郎

叙正三位昭和十九年三月辛日死亡故元帥海軍大將從三位古賀峯一

明治四十年十二月二十日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年五月一日

海軍大臣 鳴田繁太郎



海軍

めくれず

海秘人第八三六號

昭和十九年五月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎



内閣總理大臣 東條英機 殿

官報  
不登載

故元帥海軍大將古賀峯一ハ多年軍職ニ在リテ  
 克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處  
 戰地ニ於テ飛行機ニ搭乗作戰指揮中三月  
 三十一日殉職候ニ付テハ特ニ位一級被追陞度  
 別紙上奏書進達ス

海軍

(終)



丙  
一三三七

故元帥海軍大將從三位古賀峯一  
特旨ヲ以テ位一級進陞セラル

昭和十九年五月四日

從三位古賀峯一

叙正三位

昭和十九年三月三十一日

右ノ道宣下相公候條此旨及傳達候也

昭和十九年五月四日

宗秩 奏 宣下相公 子爵武者小路公経

海軍一 人 臣

二號昇紙

裏面白紙

宮内省